

# あっぱれ 優 拍手!

## 小学生

- 第7回デストロイヤー杯
- 2位 小学女子3・4年の部 +36kg級  
山倉和華(久賀小)
- 第24回千葉県スポーツ少年団ミニバスケットボール教室東葛大会Bブロック
- 3位 男子の部 多古MBC
- 東総フレンドリーカップ(ミニバスケットボール)
- 優勝 男子の部 多古MBC
- 多古町ドッジボール大会
- 低学年の部
- 優勝 ドッジファイヤー(第一小)
- 2位 多古ファイター(第一小)
- 高学年の部
- 優勝 多古町・東庄町連合
- 2位 ブロックアタッカー(第一小)

## 一般

- 町民綱引大会
- 小学生の部
- 優勝 NIKÉ(第二小)
- 2位 ぶっちゃけファイヤー(第二小)
- 3位 多古-GIRLS(第一小)
- 一般男子の部
- 優勝 多古中男テニA
- 2位 多古中男子陸上部
- 3位 多古中男テニD
- 一般女子の部
- 優勝 多古中陸上部
- 2位 多古中バレーボール部B
- 3位 多古中バレーボール部A
- 男女混合の部
- 優勝 多古中陸上部
- 2位 ガルボ

## 地域の人と一緒に学ぶ多古高校開放講座

12月3日、全10回で行われてきた開放講座の最終回と閉講式が開かれました。

参加した方は「講座の内容も豊富で、一緒に取り組んだ生徒たちも積極的に話しかけてくれたりしてとても楽しかった」などと感想を述べました。一方、生徒は「普段は教わるという立場だけど、この活動では逆。3年間学んだ事を教えることができ楽しかったし、貴重な体験をすることができました。この春から社会人になりますが、この体験を生かせればと思います」と話しました。

学校の開放講座は、多古高校だけではなく、平日に生徒と一緒に学ぶ講座は数少ないとのこと。来年も開催する予定なので多くの方の参加をお待ちしています。



## 上手に書けたかな

12月26日、コミュニティプラザで小学生を対象に書き初め教室が行われました。今回初めて企画されたこの事業は、日本の伝統的文化や筆使いを学んで書の楽しさを知ってもらうことを目的に書道教室を開いている兼松さんを先生に招き、全2回で行われました。小学1年から6年生までの13名が参加し、先生に書き方を習いながら、一生懸命に何枚も書きました。出来上がった作品はボードに貼り、よくできたところ、こうすればよかったことなどを発表し合い、上達する“コツ”を学ぶことができた1日になりました。



## 今では生活の一部です

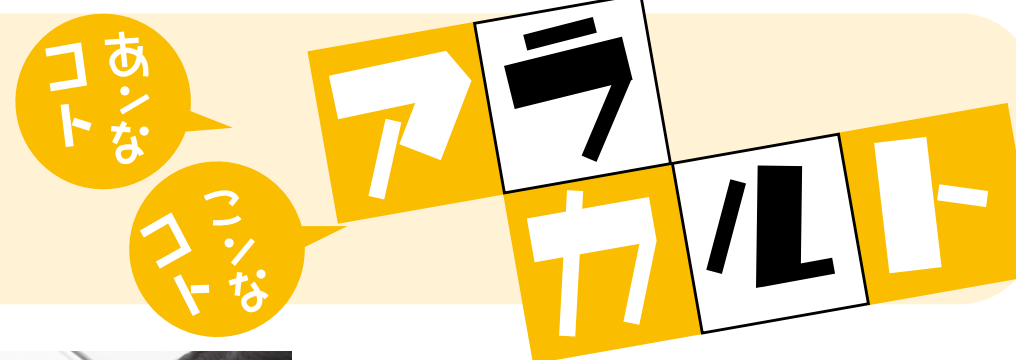
25歳のときから今年で何と55年目、1日も欠かさず日記をつけ続けている飯新地区にお住いの土井文江さんにお話をうかがいました。

当時、区の役員さんが農業日誌の注文を取って回っていたことが始めたきっかけで、苦しかったことや大変だったこと、楽しかったことなど自分だけでなく家族のことも全て書き記してあります。「あの時はどうだったっけ？」というときは日記を見返してみるとたいいていのことは分かるとのことでした。

「文章を書くには、考えて手を動かしますから健康にも良いでしょう」と家族の方は話します。今までつけてきた55冊の日記帳を前に、「昔から書道や文章を書くことが好きでした。これが続けられる秘訣ですね」と話す文江さん。これからもお元気で続けてください。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。  
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。  
〒289-2292  
多古町役場総務課広報係 ☎76-2611



## 地域みんなが一体となって

11月30日、子ども会・老人クラブ・消防団・地区役員など常磐塚地区の方々およそ70名が集まって、ときわの里保全会による収穫祭が開かれました。地域の人ができるだけ多く参加して、みんなで地元を活性化していこうと、補助金を活用した環境美化の花植え事業を足掛かりとして始まり、今年で5年目を迎えました。

異なる世代が集まり、話をしたり作業をすることで「どの誰だかがわかる」「今地区ではどんなことが問題になっているのか」など、地域全体のことが見えてくるし、情報を共有することができる。これが一体感につながり結束力が高まると保全会の会長は話します。

花植えや神社の清掃など作業の後は、餅つき、焼き芋、イモ汁など秋の味覚をみんなで味わいました。

## 地味だけど、重要度が高い死角の理解

12月12日、町と締結した包括協定に基づき、JAF(一般社団法人日本自動車連盟)千葉支部による二輪車安全運転講習会が多古高校のバイク通学生徒105名を対象に開催されました。

車両の点検から始まり、ブレーキングから停止するまでの距離感を確認する急制動、目線を遠くに置くことで急な回避行動への対応を身に着けるスラローム、低速時の車体操作とブレーキングを学ぶ狭路走行、自動車から自分がどう見えているのかを確認する死角確認といった技術指導とドライブレコーダーの映像を見ながら危険予知の大切さを学ぶ座学とをあわせて、およそ2時間にわたる講習会となりました。

今年で2回目だという2年生は「車に乗っている人は、思った以上に周囲のことが見えていないことが改めてわかりました。バイクを運転する時は死角の位置に気を付けて運転したいです」と話しました。



## 一緒に楽しんだひととき

12月5日、多古中1・2年生の生徒44名が多古特別養護老人ホームを訪ねました。これは多古中学校生徒会によるもので、お年寄りと交流することにより、思いやりの心を育むことや自分たちができる福祉を実践することを目的として、毎年この時期に行われています。この日のために生徒が手作りした手の平サイズのクリスマスツリーにメッセージを添えてプレゼント。その後は歌を披露したり、輪になって一緒に風船バレーなど楽しいひとときを過ごしました。参加した中学生たちは「おじいさん、おばあさんと一緒に楽しくゲームができてうれしかったです」と笑顔で感想を話してくれました。

